

# 甲斐市文化遺産年報4

平成30年度・令和元(平成31)年度

2022

甲斐市教育委員会

# 甲斐市文化遺産年報4

平成30年度・令和元(平成31)年度

2022

甲斐市教育委員会



## 序 文

甲斐市のかつての景観は、農村風景がひろがるのどかな景観でしたが、戦後の高度成長期以降、平坦地を中心に宅地開発が頻繁に行われています。その結果、農村風景は一変し、現在は宅地景観が主となっています。

市域は地形から4つのエリアに分類することができます。市北部の山岳地エリアは、かつては林業従事者である柚が活躍していた地域でした。開発対象になりにくいことから、古い景観などが色濃く残っている地域です。茅ヶ岳南麓エリアは古代の国营牧場跡である「穂坂牧」の範囲に想定されているエリアです。中世、塩川周辺では鋳物師が活躍したこともわかっています。荒川扇状地エリアは「金の尾遺跡」「松ノ尾遺跡」の集落遺跡に代表されるように、古くから開発が盛んな地域であったことが、発掘調査の結果から判明しています。釜無川扇状地エリアは「信女堤」と「竜王河原宿」が特に著名ですが、かつての釜無川の流路のなかに、島のように点在した古い集落が核となって、今の市街地を形成していることは、ほとんど知られていません。

市域には様々な文化財が存在する一方で課題もあります。地域の歴史文化を今に伝えるお祭りや踊り、古老の昔話や石碑などの有形・無形の文化遺産（歴史文化資産）は、どの地域においても滅失や継承者不足の危機に瀕しています。そのような、地域のアイデンティティである文化遺産を次代に伝える手立ては、行政や専門家だけでなく、地域の様々な人たちの協力を得て講じていく必要があります。そのためには、自分たちの住む地域にはどのような歴史文化があるのかを、このような年報を通して少しでも皆様知ってもらい必要があると感じています。

最後になりましたが、甲斐市の文化財保護・保存対策に際し、ご理解とご協力を賜りました関係各位に深く感謝いたします。

令和4年3月31日

甲斐市教育委員会  
教育長 宮坂 雄次郎

# 例 言

1. 本書は山梨県甲斐市における平成30年度および令和元（平成31）年度における、文化財の保護・活用に関する概要を記した年報である。
2. 甲斐市における文化財の保護・活用に関する行政組織は次のとおりである。

平成30（2018）年度				令和元（平成31・2019）年度			
甲斐市教育委員会	教 育 長	生山 勝		甲斐市教育委員会	教 育 長	三澤 宏	
	教 育 部 長	三澤 宏			教 育 部 長	樋口 充	
生涯学習文化課	課 長	土屋 達巳		生涯学習文化課	課 長	飯沼 秀司	
文化財係	係 長	大嵩 正之		文化財係	係 長	大嵩 正之	
	主 任	長谷川哲也			主 任	長谷川哲也	
	会計年度任用職員	奥野 夏美			主 事	塩谷 風季	

平成30年度・31（令和元）年度 文化財調査作業員登録者（順不同）

高添美智子・望月 典子・青柳 正史・古屋 秀雄・堤 吉彦・羽中田 勲・森澤 篤美・横内 博  
笠井 治・立花 重光・日向 充雄・手塚 松雄・齊藤 功記・秋山高之助・伊井 實・小林 求  
深澤 友子・醍醐 三郎・田中ひとみ・瀧口 晴彦・新津 多恵・望月 厚子・佐藤 真紀  
飯沼 源治・宮坂雄次郎・箭本 千尋・望月 美香・森川 恵美・安達 里香・雨宮 義臣

3. 本書の執筆・編集は長谷川が行った。
4. 本書に掲載した史・資料、諸記録はすべて甲斐市教育委員会に保管してある。
5. 平成30年度および令和元（平成31）年度中の文化財保護業務にあたり関係各位からご理解、ご協力を頂いた。ここに感謝申し上げる次第である。

## 目 次

第1章 文化財の保存と活用	1
1. 文化財保護審議会	1
2. 指定文化財	6
3. 説明板設置事業	7
4. 文化財防火デー	7
5. その他文化財	8
6. 教育・普及事業	9
第2章 埋蔵文化財	15
1. 平成30年度 埋蔵文化財保護行政概要	15
2. 平成30年度 試掘調査概要	17
3. 令和元年度 埋蔵文化財保護行政概要	24
4. 令和元年度 試掘調査概要	25

## 表・挿図 目次

第1-1表 文化財保護審議会委員名簿	1	第2-1表 平成30年度 試掘調査一覧	15
第1-2表 平成30年度審議会活動	1	第2-2表 平成30年度 開発の届出件数	17
第1-3表 令和元年度審議会活動	3	第2-3表 平成30年度 包蔵地問合せ件数	17
第1-4表 平成30年度 歴史講座（全10回）	9	第2-4表 令和元年度 試掘調査一覧	24
第1-5表 令和元年度 歴史講座（全9回）	10	第2-5表 令和元年度 開発の届出件数	24
第1-6表 平成30年度 講師派遣依頼	11	第2-6表 令和元年度 包蔵地問合せ件数	24
第1-7表 令和元年度 講師派遣依頼	13		

第1図 試掘調査位置図	16	第2図 不動ノ木遺跡 遺構平面図	19
-------------	----	------------------	----

※平成31年4月30日以降は令和元年となる。本文中において、平成31年度は令和元年度として表記した。

# 第1章 文化財の保存と活用

## 1. 文化財保護審議会

平成30年度の文化財保護審議会は委員の改選が行われ、甲斐市文化財保護条例第20条1項に基づき、平成28年度・29年度に引き続き坂本 美夫氏が会長に選任された。また、同条例第3項に基づき、坂本会長から新津 健氏が職務代理に指名され、引き続きの選出となった。委員は2年任期であるため、平成30年度から令和元年度の甲斐市文化財保護審議会委員は下表のとおりとなり、全員が再任となった。なお、旧敷島町時代から長年にわたりご助言・ご指導をいただいた中込 司郎委員は、今期でご退任されることとなった。

第1-1表 文化財保護審議会委員名簿（任期：平成30（2018）年4月1日～令和2（2020）年3月31日）

役 職	氏 名	担 当
会 長	坂 本 美 夫	史跡・有形文化財
職務代理	新 津 健	名勝・有形文化財
委 員	中 込 司 郎	天然記念物
委 員	鈴 木 麻 里 子	有形文化財
委 員	畑 大 介	有形文化財

第1-2表 平成30年度審議会活動

開 催 日	内 容	開 催 場 所
平成30年4月26日	委員委嘱状交付式及び第1回審議会	甲斐市役所
平成30年8月23日	第2回審議会	甲斐市役所
平成30年11月27日	第3回審議会	清川地域ふれあい館・敷島総合文化会館
平成31年3月16日～17日	委員研修 【1日目】 武蔵府中熊野神社古墳（東京都府中市西府中2-9） ふるさと府中歴史館・国司の館と家康御殿広場 （東京都府中市宮町3-1・府中市本町1-14） 三越日本橋本店（東京都中央区日本橋室町1-4-1） 【2日目】 旧横浜正金銀行本店（神奈川県横浜市中区南仲町5-60） 萬翠楼福住（神奈川県足柄下郡箱根町湯本643） 大瀬崎のビヤクシン樹林（静岡県沼津市西浦江梨）	東 京 都 神 奈 川 県

【第1回】

①平成30年度指定文化財保護事業

- ・国登録文化財（建造物）説明柱設置事業（山縣神社手水屋）
- ・市指定文化財（建造物）天澤寺山門の県指定について
- ・消火器設置事業（松尾神社・峰観音堂・富竹新田神明神社・金剛寺）
- ・県指定天然記念物保存事業（上管口のネズ）
- ・史跡環境整備事業（大塚古墳・黄梅院跡）

②文化財調査・保護事業

- ・松ノ尾遺跡第16次調査結果の概要
- ・遺跡情報管理システム更新事業

③普及・活用事業の報告

- ・市民講座「歴史講座」の開催（全10回予定）
- ・教育普及事業



委嘱状交付式の様子

【第2回】

①文化財指定の諮問

- ・八雲神社絵馬（神戸）
- ・絹本着色仏涅槃図の「軸木・箱」（慈照寺）

②志田 網蔵邸について

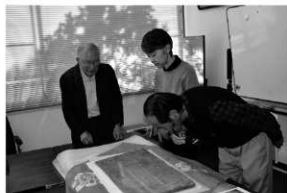


絹本着色仏涅槃図軸木・箱の調査

【第3回】

①文化財指定調査による文化遺産調査

②現地踏査（神戸 八雲神社）



八雲神社絵馬の調査



八雲神社 現地踏査

【委員研修】



委員研修（武蔵府中熊野神社古墳）



委員研修（三越日本橋本店）



委員研修（萬翠楼福住）



委員研修（大瀬崎のビャクシン樹林）

第1-3表 令和元年度審議会活動

開催日	内容	開催場所
令和元年6月13日	第1回審議会	甲斐市
令和元年11月28日	第2回審議会	甲斐市・現地踏査
令和2年3月24日	第3回審議会	甲斐市

令和元年度 文化財保護審議会 主要議題

【第1回】

①指定文化財

- ・ 神前祈願図絵馬（市有形文化財（歴史資料）／令和元年6月10日指定）…新規指定
- ・ 絹本着色仏涅槃図 附 軸木・箱（市有形文化財（絵画）／令和元年6月10日指定）…附指定

②令和元年度指定文化財の補助事業

③埋蔵文化財本調査…御岳田遺跡第10次発掘調査

④その他

- ・ 睦沢地域ふれあい館北側の旧校舎取り壊しに際し、保管していた出土遺物・民具を旧敷島町給食センター



に一時移動

- ・来年度、山縣神社境内にある竜王歴史民俗資料館の解体工事を行う予定
- ・光照寺の階段（未指定）整備について  
→東日本鉄道文化財団に補助金申請を行ったところ採択されたため、今年度中に階段の整備を行う

## 【第2回】

### ①御岳田遺跡第10次発掘調査

### ②その他

- ・来年度実施予定の竜王歴史民俗資料館の解体工事について
- ・各種計画の策定について  
→令和2年度からの市各種計画を策定中。文化財係でも文化財保存活用地域計画の作成に向けて動き出す
- ・神前祈願図絵馬（市指定）の山梨県文化財保護審議会による調査について
- ・金剛地金山神社祭典（市指定）の神社トタン屋根（未指定）の補助金可否について  
→神社本体は指定文化財ではないため、補助対象とはならず
- ・御嶽昇仙峡（国特別名勝）の日本遺産申請準備について

## 【第3回】

### ①「神前祈願図絵馬（市指定有形文化財・歴史資料）」の指定解除について

→「八王子神前祈願図絵馬」として県指定文化財（歴史資料）に令和2年3月9日付で指定されたため

### ②御嶽昇仙峡（国特別名勝）日本遺産申請について…令和2年1月22日、甲府市と共同で申請

### ③文化財保存活用地域計画について

### ④中込 司郎委員の退任について

中込委員は、旧敷島町時代の昭和51年（1976）から、令和2年（2020）まで44年間にわたり文化財保護審議会委員として、文化財の保護にご尽力されました。その間、平成11年（1999）4月1日から平成16年（2004）8月31日まで旧敷島町、平成18年（2006）4月1日から平成26年（2014）3月31日までは、甲斐市の審議会会長をお勤めいただきました。ご専門の植物分類学以外にも様々な分野においてご指導をいただき、会議中はユーモアを交えた体験談や当時の調査内容など、経験した当事者にしかわからない貴重な情報をもとにご助言をいただきました。

文化財保護審議会以外にも、甲斐市市の木・市の花選考委員会委員や、山梨県緑化推進機構評議員などをお勤めになられ、本市以外にも山梨県全体の植物に関わる委員をお勤めになりました。また、平成15年の山梨県文化賞文化功労者賞を皮切りに、甲斐市有功表彰（平成17年）、文部科学大臣表彰地域文化功労者賞（平成18年）、山梨県政功績者表彰（平成19年）を受賞されました。

約半世紀にわたり、数々のご指導・ご助言をいただき、誠にありがとうございました。今後とも、よろしく願いいたします。



今限りでご退任される中込 司郎委員



金の尾遺跡第1次発掘調査現場にて（昭和53年頃） 写真中央が中込 司郎委員  
写真左端 末木 健氏、写真左から3人目 植松 又次氏、写真右から3人目 羽中田 壯雄氏



平成24年度 委員研修  
（静岡県田方郡函南町 丹那断層公園）



平成25年度 会長在任時の審議会



平成26年度 委員研修  
（愛知県蒲郡市 清田の大クス）



平成28年度 委員研修  
（群馬県富岡市 旧富岡製糸場）

## 2. 指定文化財

### (1) 平成30年度

#### ①三社神社本殿（市指定）屋根及び峰観音堂（市指定）屋根の修繕

平成29年度の冬、暴風により三社神社本殿（竜王）及び峰観音堂（牛匂）の屋根材を覆う銅板・鉄板が破損した。平成29年度の予算では修繕費用補助金を賄うことが不可能のため、平成30年度予算の6月補正にて補助金を計上し、修繕を行った。

#### ②消防署からの指摘による消火器設置事業（松尾神社・峰観音堂・富竹新田神明神社・金剛寺）

平成29年度第65回文化財防火デーの査察において、甲府地区消防本部から各社寺が指摘を受けたため、消火器の新設を行い対応した。

#### ③県指定天然記念物保存事業（上菅口のネズ）

樹勢回復のため、ネズ周辺の樹木を剪定した。

#### ④史跡環境整備事業（大塚古墳・黄梅院跡）

史跡内樹木の枝打ち等を行った。

### (2) 令和元年度

#### ・神戸八雲神社絵馬の新規指定と、慈照寺 絹本着色仏涅槃図（市指定）の軸木・箱の附指定

上記文化財は平成29年度の文化財保護審議会で議題にのぼり、鈴木委員と畑委員がそれぞれ調査書の作成を行った。平成30年8月21日付・甲斐生第8-62号で市教育委員会から審議会に諮問、令和元年5月15日付・甲斐市文審第1号において答申を行い、令和元年6月11日付けで市指定文化財に指定された。

新規指定の八雲神社絵馬は、「神前祈願図絵馬」という名称で市指定文化財となった小絵馬で、裏面には村の繁盛と奉納主の長寿を願う祈願文が、慶長4年（1599）の年号と共に記されている。神社が所在する甲斐市神戸地区は市域北部の山岳地に位置し、軸として甲府城築城や豊臣秀吉の朝鮮出兵、関ヶ原の戦いに動員されたという江戸時代の記録が残っているなど、木材を通して活況を呈していたと推察される。主な指定理由として、「甲斐国の柚集落の実情の一端を知る重要な資料であること」、「小絵馬で中世まで遡る作例が少なく稀少であること」があげられる。令和元年12月5日、山梨県文化財保護審議会有形文化財部会が、神前祈願図絵馬を山梨県指定文化財候補としてあげ、清川地域ふれあい館で調査を行った。その結果、令和2年3月9日付けで県指定文化財となり、名称も「八王子神祈願図絵馬」と変更された。

附指定の軸木・箱は、涅槃図の墨書等によって寛文8年（1668）、嘉永5年（1852）に修補されたことが分かっていた。本軸木の墨書の発見によって、寛文の修補を行った慈照寺12世得翁長喜の出生地が近江国彦根で、姓が長坂であったこと、修補者は郡内の宗覺という人物であることが新たに判明した。さらに、嘉永の修補は上帯名村神宮寺弥五右衛門が施主であったこと、昭和3年（1928）にも慈照寺33世大森禪成によって甲府市常盤町の大平堂平井宗造が修補を行ったことも判明した。また、箱の墨書からは、箱が寛文の修補の際、中八幡村（甲斐市）の大工 兵右衛門によって造られたものが判明した。主な指定理由として、軸木及び箱は涅槃図の修理の過程を詳細に知ることができる貴重な資料であるとともに、修補を行いながら物を継承していく近世・近代の様相を知る資料であることがあげられる。



八王子神祈願図絵馬 赤外線写真（表面）



八王子神祈願図絵馬 赤外線写真（裏面）



絹本着色仏涅槃図 軸木・箱 墨書

### 3. 説明板設置事業

甲斐市内には、国指定3件・県指定24件・市指定76件、合計103件の指定文化財が所在し、4件の国登録文化財がある（令和3年度現在）。市教育委員会では市民をはじめ多くの方々に広く文化財のことを知ってもらう為の取り組みの一つとして、文化財説明板の整備を進めている。平成30年度・令和元年度は、標柱の設置・新規説明板設置を行った。

- ・平成30年度…山縣神社手水屋（国登録・建造物）
- ・令和元年度…松ノ尾遺跡（県指定・考古資料）

### 4. 文化財防火デー

文化財防火デーに伴う立入検査（甲府地区消防本部西消防署）および防火訓練が、以下のとおり行われた。

- ・平成30年度 第65回文化財防火デー
  - 立入検査（1/25）…慈照寺、長光寺（峰観音堂）、天澤寺、金剛寺（袴腰天神本殿）、山縣神社、神明神社、松尾神社、三社神社
  - 消防防火訓練（1/27）…光照寺薬師堂

・令和元年度 第66回文化財防火デー

立入検査（1/24）…慈照寺、長光寺（峰観音堂）、天澤寺、金剛寺（袴腰天神本殿）、神明神社、松尾神社、三社神社

消防防火訓練（1/26）…光照寺薬師堂（雨天中止、自動火災報知機の点検と峡北消防本部及葉分署による立入検査のみ実施）

## 5. その他文化財

### (1) 平成30年度

・甲斐市遺跡情報管理システムの更新を行った。

### (2) 令和元年度

#### ①御岳田遺跡第10次発掘調査

甲府信用金庫の店舗建設に伴い、約700㎡の発掘調査を行った。出土遺物等の整理分析調査は令和2年度に実施予定である（令和2年度に報告書刊行済。遺構・遺物の詳細についてはそちらを参照）。

#### ②光照寺の階段（未指定）整備について

平成30年5月、光照寺檀家総代長から「光照寺の参道を整備したい」との相談を受ける。しかし、参道は指定文化財でないため補助対象外であったことから、公益財団法人 東日本鉄道文化財団の地方文化事業支援への応募を行うため、平成30年11月15日付けで市教委に支援依頼があった。市教委が窓口として申請を行い、平成31年4月24日付・八総総第23号にて参道整備事業が承認された。令和元年8月8日に光照寺において「2019年度東日本鉄道文化財団 地方文化事業支援」承認書の贈呈式が行われ、光照寺薬師堂参道整備事業実行委員会が立ち上げられた。当該年度は階段の整備工事で、9月中に工事着工・完了した。なお、来年度以降も東日本鉄道文化財団への事業申請を行い、順次参道整備を行う予定であったが、残念ながら事業支援の対象外となった。



御岳田遺跡第10次 北側調査区  
（オルソ画像・写真右が北）



光照寺本堂での承認書贈呈式

## ②日本遺産の申請準備

平成31年4月、昇仙峡と周辺地域の日本遺産申請に向けた勉強会が、山梨県・甲府市・昇仙峡観光協会・甲斐市が参加して開催された。その後も打ち合わせや文化庁への相談等を行い、関係機関が着々と準備を進めている（令和2年度に申請内容が認定された）。

## 6. 教育・普及事業

甲斐市内や甲斐市に関係する文化財について、市民の方に広く理解してもらう歴史講座と、講師派遣依頼に基づいた市内文化財の解説等を行った。なお、令和元年度第9回目の歴史講座は中止となった。その理由として、令和2年2月25日に厚生労働省が示した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき、本市においても部長会議の結果、市主催のイベントは延期または中止となったためである。

第1-4表 平成30年度 歴史講座（全10回）

開催日	講座名	講師	内 容	参加人数
6月28日 7月19日	富士 <sup>かいざん</sup> 大山たちまち暴火あり～富士山の噴火と信仰の歴史～	新津 健氏 (市文化財保護審議会委員)	6/28：座学 7/19：現地研修…河口浅間神社・山梨県立富士山世界遺産センター・北口本宮浅間神社・青木ヶ原溶岩露頭・本栖湖畔・本栖歴史館	21 20
8月4日	夏休み子ども歴史講座 土偶づくり	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会)	粘土で土偶をつくり、一週間ほど乾燥させ、自宅オープンで焼く	4 (付き添いの保護者3)
9月20日 10月11日	仏像を学ぶ 江戸時代だって仏像だ！	鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員)	9/20：県内研修…長遠寺・隆円寺・妙了寺 10/11：県外研修…智識寺（千曲市）・長雲寺（同）・福満寺（東筑摩郡麻績村）	21 23
11月17日 12月1日	古墳を学ぶ	熊谷 晋祐氏 (山梨県埋蔵文化財センター)	11/17：座学 12/1：現地研修…甲斐鏡子塚古墳等・岡鏡子塚古墳・加牟那塚古墳・中秣塚古墳	19 20
2月23日 3月9日	城館の歴史と見方を学ぶ	畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員)	2/23：座学 3/9：現地研修…小田原城址公園（小田原市）・石垣山一夜城歴史公園（同市）・山中城跡公園（三島市）・本栖石塁	20 22
3月14日	ぐるり宿場巡り	室伏 徹氏 (山梨県考古学協会事務局長)	甲州ぶどうの発祥の地で知られる「旧甲州道中勝沼宿」を、歩きながら歴史を学ぶ	21



平成30年度 仏像を学ぶ（福満寺）



平成30年度 古墳を学ぶ  
（甲斐鏡子塚古墳）



平成30年度 城館の歴史と見方を学ぶ  
(石垣山一夜城歴史公園)



平成30年度 ぐるり宿場巡り  
(旧田中銀行)

第1-5表 令和元年度 歴史講座 (全9回)

開催日	講座名	講師	内容	参加人数
6月20日 7月12日	日本遺産・縄文の世界を探る	新津 健氏 (市文化財保護審議会委員)	6/20:座学 7/12:現地研修…南アルプス市ふるさと文化伝承館、梅之木遺跡公園、金生遺跡公園、北杜市考古資料館、韮崎市民俗資料館	23 24
8月3日	夏休み子ども歴史講座どぐう作り	村松 圭子氏 (山梨県考古学協会会員)	粘土で土偶をつくり、一週間ほど乾燥させ、自宅オープンで焼く	4 (付き添いの保護者3)
9月17日 10月9日	神社の歴史と文化財	鈴木 麻里子氏 (市文化財保護審議会委員)	9/17:座学 10/9:現地研修…甲斐奈神社、一宮浅間神社、美和神社	24 20
11月30日 12月14日	もっと知りたい!古墳の話	熊谷 晋祐氏 (山梨県埋蔵文化財センター)	11/30:座学 11/11:現地研修…天神塚古墳、牧洞寺古墳、湯村山古墳群、敷島大塚古墳	22 23
2月15日 3月7日	治水施設の歴史と見方を学ぶ	畑 大介氏 (市文化財保護審議会委員)	2/15:座学 3/7:現地研修…新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止	23 中止



令和元年度 もっと知りたい!古墳の話  
(湯村山1号墳)



令和元年度 治水施設の歴史と見方を学ぶ

第1-6表 平成30年度 講師派遣依頼

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
4月18日	市文化協会郷土研究部長	市民	北山筋歴史探訪 出土品が語る歴史 大型赤彩壺と阿弥陀如来坐像	30
4月25日	県公平委員会連合会委員長	有識者 県民	歴史文化資産から探る地球の環境と災害	50
5月15日	双葉東小学校長	小3	御座石・往生塚古墳の歴史的な説明	109
5月16日	敷島新町いきいきサロン	市民	小字・大字	20
5月22日	双葉東小学校長	小3	塩崎駅・泣き石・光照寺の歴史的な説明	109
5月25日	竜王南部公民館長	市民	歴史から見る災害	17
6月16日	上町北いきいきサロン	市民	穂坂路と御嶽道	35
6月19日	さつき野俳句会長	市民	三社神社と信玄堤、竜王河原宿周辺	15
6月20日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	竜王北小学区の歴史文化資産	40
6月22日	竜王南部公民館長	市民	甲斐市の山城	15
6月25日	双葉東小学校長	小3	黄梅院	12
6月26日	宮地いきいきサロン	市民	金の尾遺跡と気候	20
6月27日	双葉東小学校長	小3	御座石 往生塚	10
7月6日	巖市町会長連絡協議会長(埼玉県)	県外	信玄堤	35
7月7日	清川地域ふれあい館長	市民	峡東地域史跡めぐり	23
7月19日	敷島台自治会楽寿会長	市民	睦沢地域ふれあい館・藤村記念館 他	31
7月21日	積石塚渡来人研究会会長	一般	コーディネーター並びにアドバイザーとして	60
7月27日	竜王南部公民館長	市民	考古学整理作業実技	12
8月8日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	山県大武	40
8月8日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	信玄堤	40
8月24日	桐朋女子高等学校校長(調布市)	高1	信玄堤	13
8月28日	市人事課長	大学生	インターンシップ	3
8月29日	市人事課長	大学生	インターンシップ	5
9月11日	ことぶき勸学院25期会長	市民	武田氏の歴史文化資産ほか	20
9月21日	山梨ことぶき勸学院長	一般	歴史文化資産から探る地域の気象環境と災害	35
9月28日	竜王南部公民館長	市民	大字・小字	13
10月12日	玉轡小学校長	小4	信玄堤	39
10月18日	睦合小学校長	小4	信玄堤	20
10月23日	敷島南小学校長	小4	信玄堤・龍地大溜井・水車跡地	71
10月23日	希望ヶ丘いきいきサロン	市民	市内遺跡めぐり	23
10月25日	睦沢地域ふれあい館長	市民	郡内地域史跡めぐり	25
10月28日	信州大学医学部OB会山梨支部	一般	信玄堤	12



開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
10月28日	敷島子どもクラブ指導者協議会長	小3～ 中3	吉沢－島上条の道について	25
10月31日	竜王北小学校長	小4	信玄堤	73
11月7日	竜王小学校長	小4	信玄堤	86
11月7日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	竜王地区南部地域の歴史文化資産	35
11月7日	中巨摩教育協議会長ほか	教育	双葉地区の歴史文化資産	30
11月9日	西町いきいきサロン	市民	巨摩郡と高麗郡	17
11月25日	山梨県埋蔵文化財センター所長	一般	遺跡調査発表会（松ノ尾遺跡第16次調査）	40
11月28日	大下条いきいきサロン	市民	遺跡が物語るもの	30
11月30日	竜王北部公民館	市民	災害の歴史	17
12月3日	竜王東小学校長	小4	信玄堤	45
12月4日	郡市指導主事会長	教育指導主事	信玄堤と地形	36
1月11日	市人事課長	大学生	大学生インターンシップ	1
1月17日	竜王西小学校長	小3	おみゆきさん	63
1月20日	月林いきいきサロン	市民	武田信玄	15
1月24日	敷島南小学校長	小3	受け継がれる行事・むかしの道具	87
2月12日	竜王小学校長	小3	むかしの道具	71
2月4日 ～8日	敷島南中学校長	小3	むかしの道具	87
2月28日	市人事課長	大学生	インターンシップ	1
3月12日	名取いきいきサロン	市民	清和源氏と武田三代	28
3月20日	敷島新町いきいきサロン	市民	武田氏の歴史	20
講師依頼件数 合計52件		参加人数 合計1809人		



桐朋女子高等学校（東京都調布市）信玄堤研修

第1-7表 令和元年度 講師派遣依頼

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
4月13日	積石塚渡来人研究会会長	一般	赤坂台古墳群、天狗沢瓦窯跡、大塚古墳	80
4月16日	市文化協会郷土研究部長	市民	富士川水系と減災	24
5月14日	双葉東小学校長	小3	黄梅院・往生塚の説明	121
5月23日	双葉東小学校長	小3	塩崎駅・泣き石・光照寺の説明	121
5月28日	山梨ことぶき勸学院長	一般	郷土の歴史	27
6月15日	上町北いきいきサロン	市民	敷島地区の古墳	23
6月17日	竜王新町6区いきいきサロン	市民	6区の歴史 甲州街道など	15
6月19日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	竜王学区の歴史文化資産 戦争遺跡	30
6月25日	宮地いきいきサロン	市民	水(水路・水車等)の歴史	14
6月30日	飯田市上久堅を学ぶ会々長ほか (長野県)	一般	信玄堤	20
7月1日	山梨県土地家屋調査士会長	一般	自然災害と信玄堤(関東ブロック協議会員対象)	130
7月9日	本竜王地区自治会連合会	市民	本竜王の歴史	35
7月13日	清川地域ふれあい館長	市民	峡東地域史跡めぐり	25
7月25日	市人事課長	高2	インターンシップ	6
8月2日	自治会連合会敷島支部長	市民	敷島地区の歴史	30
8月19日	市学校教育課長	教員	3地区の水に係る歴史文化資産研修 (教師力向上総合講座)	20
8月21日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	敷島学区の歴史文化資産 戦争遺跡	30
8月24日	桐朋女子高等学校長(調布市)	高1	信玄堤	25
8月28日	市人事課長	大学生	インターンシップ	6
9月4日	敷島台楽寿会長	市民	牛匂諏訪神社、信玄ミュージアムほか	23
9月10日	ことぶき勸学院25期会長	一般	市内武田氏関連史跡	18
9月28日	東京都建設同友会長	一般	信玄堤	27
10月4日	竜王北小学校長	小4	信玄堤	31
10月8日	竜王北小学校長	小4	信玄堤	31
10月9日	睦合小学校長	小4	信玄堤	21
10月10日	玉幡小学校長	小4	信玄堤	61
10月23日	大下条いきいきサロン	市民	敷島地区の歴史	18
10月24日	睦沢地域ふれあい館長	市民	峡北地域史跡めぐり	26
10月25日	敷島南小学校長	小4	信玄堤	85
10月29日	希望ヶ丘いきいきサロン	市民	水害	25
11月7日	竜王東小学校長	小4	信玄堤	46
11月7日	西町いきいきサロン	市民	敷島地区の歴史	15

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
11月8日	竜王小学校長	小4	信玄堤	69
11月12日	竜王南部公民館長	市民	双葉地域の歴史文化資産（座学）	20
11月14日	さいたま市南区役所区民生活部 コミュニティ課	県外	信玄堤	50
11月17日	中部公園セミナーハウス利用者 団体協議会長ほか	市民	「ふれあいまつり」での土器拓本教室	不特定
11月19日	竜王南部公民館長	市民	双葉地域の歴史文化資産（現地研修）	20
11月22日	神奈川県私立中学高等学校協会理 事長ほか	教員	信玄堤	21
12月11日	吉沢地域ふれあい館長	市民	甲府市史跡めぐり	24
1月9日	竜王南小学校長	小3	昔のくらし 民具	61
1月15日	中巨摩教育協議会長ほか	教員	慈照寺の歴史文化資産	30
1月21日	月林いきいきサロン	市内	甲府城	8
1月22日	塩山北公民館長	市外	信玄堤	41
2月9日	山梨県埋蔵文化財センター所長	一般	輝け！やまなし古墳めぐりグランプリ参加	97
2月9日	甲府ウォーキング協会	一般	赤坂台古墳群見学	53
2月16日	長塚いきいきサロン	市民	長塚の文化財	20
2月19日	敷島南学校長	小3	昔のくらし 民具	60
2月23日	積石塚渡来人研究会長	一般	天狗沢瓦窯跡	8
3月10日	名取いきいきサロン	市民	新型コロナウイルス感染防止のため中止	—
3月14日	山梨県埋蔵文化財センター所長 ほか	一般	遺跡調査発表会 新型コロナウイルス感染防止のため延期	—
講師依頼件数 合計50件		参加人数 合計1791人		



輝け！やまなし古墳めぐりグランプリ（山梨県防災新館1階オープンスクエア）

## 第2章 埋蔵文化財

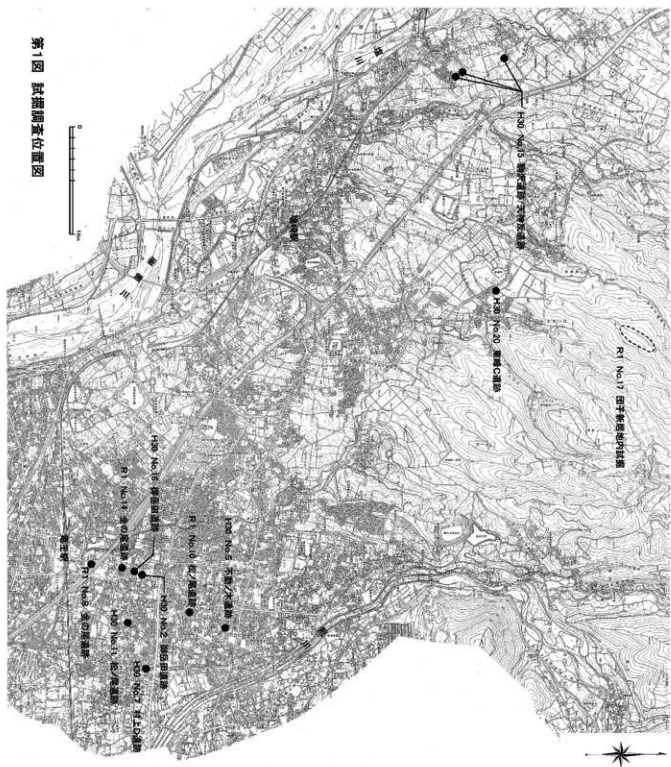
### 1. 平成30年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-1表に示したとおりである。試掘件数は前年度に比べ11件増である。このうち、No2 御岳田遺跡、No5 不動ノ木遺跡、No11 松ノ尾遺跡、No16 御岳田遺跡は本調査となった。

第2-1表 平成30年度 試掘調査一覧

No.	遺跡名	時代・時期	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	調査期間	主な遺構	主な遺物	試掘指示通知番号	届出受付No.
1	長塚東遺跡	平安	長塚字村上250番1、252番	1059.0	8.0	宅地造成 工事	H30.4.23	なし	なし	平成30年3月7日付・ 教学文第3215号	H29年度 受付No91
2	御岳田遺跡	弥生・古墳 平安・中世	大下条978-13、978-14	72.0	5.5	思造掘削 工事	H30.5.7～ H30.5.11	塼穴建物	土師器	平成30年4月13日付・ 教学文第151号	受付No.1 本調査へ
3	北浦遺跡	縄文	龍地字地蔵原5353-7	201.84	4	個人住宅 浄化槽	H30.6.6	なし	なし	平成29年11月8日付・ 教学文第2166号	H29年度 受付No62
4	鳥塚C遺跡	中世	龍地字鳥塚3010番2 ほか3筆	1329.1	8.4	通人路建 設工事	H30.6.8	なし	なし	平成30年4月2日付・ 教学文第4号	H29年度 受付No98
5	不動ノ木遺跡	縄文・弥生 古墳	中下条字不動ノ木1569外	308.5	42.0	個人住宅	H30.7.11～ H30.10.5	塼穴建物 土坑	弥生土器 土師器	平成30年6月26日付・ 教学文第1091号	受付No18 本調査へ
6	八幡遺跡	なし	竜王新町字八幡1787-13	461.0	4.0	個人住宅 浄化槽	H30.7.19	なし	なし	平成30年3月30日付・ 教学文第3221号	H29年度 受付No97
7	村上D遺跡	古墳・中世	長塚字村上127-1、 127-5	793.0	23.0	宅地造成 工事	H30.8.17	なし	布目瓦	平成30年7月27日付・ 教学文第1394号	受付No28
8	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利408番外	3530.0	70.0	宅地造成 工事	H30.8.27～ H30.8.28	なし	なし	平成30年6月18日付・ 教学文第973号	受付No16
9	堰西遺跡	縄文	大笠字松葉496-3、497	831.1	18.0	宅地造成 工事	H30.9.12	なし	なし	平成30年8月3日付・ 教学文第1499号	受付No29
10	吉沢A遺跡	縄文・奈良 平安	吉沢字窪田700番、704番	338.5	4.0	個人住宅 浄化槽	H30.9.19	なし	なし	平成30年4月1311付・ 教学文第188号	受付No.2
11	松ノ尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安 中世	大下条字東園125番1外	1380.6	33.6	宅地造成 工事	H30.9.26～ H30.10.5	塼穴建物	縄文土器 土師器 ほか	平成30年7月13日付・ 教学文第1309号	受付No25 本調査へ
12	霞堤	中世・近世	藤原字新居前1899番2外	1725.5	1.0	宮鋪サイ ン灯建設	H30.10.22	なし	なし	平成30年7月5日付・ 教学文第1193号	受付No20
13	霞堤ほか	中世・近世	富竹新田内	12694.0	66.0	塼造新設 工事	H30.10.29～ H30.11.9	なし	なし	平成30年9月27日付・ 教学文第1995号	受付No40
14	日向遺跡	縄文	大笠字久保入2098番1	1085.0	10.0	擁壁工事	H30.11.12～ H30.11.19	なし	なし	平成30年9月4日付・ 教学文第1687号	受付No34
15	駒沢遺跡/ 天神反遺跡	縄文/縄文	宇津谷内	45533.6	54.0	掘場整備	H30.11.13～ H30.12.4	なし	縄文土器 石器	平成29年9月12日付・ 教学文第1632号	H29年度 受付No43、44
16	御岳田遺跡	弥生・古墳 平安・中世	大下条字御岳田984外	2235.4	24.8	店舗建設	H30.12.11～ H30.12.19	塼穴建物 溝	土師器	平成30年11月22日付・ 教学文第2526号	受付No46 本調査へ
17	ニッ塚遺跡	なし	竜王新町大字2102-1の 一部	310.1	18.0	個人住宅 建設	H30.12.17～ H30.12.20	なし	なし	平成30年11月22日付・ 教学文第2574号	受付No52
18	松ノ尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安 中世	大下条字松ノ尾1028番19	981.0	32.0	宅地造成 工事	H31.1.8～ H31.1.22	なし	なし	平成30年11月22日付・ 教学文第2584号	受付No57
19	三味堂遺跡	縄文・弥生 古墳・平安 中世	中下条953-2	994.5	32.0	宅地造成 工事	H31.2.19～ H31.3.6	なし	なし	平成30年12月27日付・ 教学文第2847号	受付No62
20	東峰C遺跡	縄文	団子新居字塚上1358番2	550.0	32.5	鉄塔建設	H31.3.6～ H31.3.18	なし	縄文土器	平成30年11月22日付・ 教学文第2573号	受付No50
21	依 頼 大明神河原 遺跡	なし	富竹新田1743番1	1001.0	15.0	店舗建設	H30.4.16	なし	なし	試掘依頼	H29年度 試掘依頼No.5
22	依 頼 松ノ尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安 中世	大下条52番1	880.0	10.0	宅地造成 工事	H30.4.17	なし	なし	試掘依頼	H29年度 試掘依頼No.4
23	依 頼 中沢C遺跡	古墳	長塚103外	2903.7	32.4	宅地造成 工事	H30.4.23～ H30.4.24	なし	なし	試掘依頼	H29年度 試掘依頼No.6
24	依 頼 沖田遺跡	縄文・弥生 古墳・近世	竜王新町828-14	164.3	12.0	個人住宅 建設	H30.5.17	なし	なし	試掘依頼	試掘依頼No.1
25	依 頼 着物沢遺跡	縄文・近世	龍地字着物沢4749番1外	1431.0	26.4	宅地造成 工事	H30.10.23	なし	なし	試掘依頼	試掘依頼No.2

第1图 試驗調查位置圖



第2-2表 平成30年度 開発の届出（通知）件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼受付	計
試掘調査指示	20	2	2	24
工事立会指示	39	5	—	44
慎重工事指示	14	1	—	15
計	73	8	2	83

※年度内に文化財保護法に基づく届出・通知及び試掘依頼書を受理し、指示等を行った件数

第2-3表 平成30年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
問い合わせ件数	223	937	1160

## 2. 平成30年度 試掘調査概要

### No.2 御岳田遺跡

所在地 大下条978-13、978-14

調査原因 県道拡幅工事

調査期間 平成30年5月7日～11日

調査面積 5.5㎡

調査担当 長谷川哲也

山梨県道25号（甲斐中央線）の拡幅工事に伴い、試掘調査を実施した。平成28年度に御岳田遺跡8次調査を行った場所の北側隣接地にあたるため、遺構・遺物が確認される可能性が高く、予想どおり遺構・遺物を確認した。検出遺構は平安時代の竪穴建物跡の一部、出土遺物古墳時代・平安時代の土師器片が主であった。

平成30年度中に発掘調査（御岳田遺跡第9次調査）及び整理分析調査を行い、年度内に報告書（『御岳田遺跡9』）を刊行した。詳細については同書を参照。



御岳田遺跡 試掘調査位置図



試掘調査 表土剥ぎ

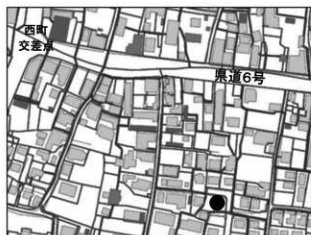


遺構検出及び土層堆積状況

## No.5 不動ノ木遺跡

所在地 中下条字不動ノ木1569ほか  
調査原因 個人住宅建設工事（表層改良）  
調査期間 平成30年7月11日～10月5日  
調査面積 42.0㎡  
調査担当 大高正之・長谷川哲也

当該地は平成26年度に試掘調査を実施し、弥生時代後期の焼失住居等の遺構・遺物が確認された場所の隣接地点である。個人住宅の表層改良工事に先立ち試掘調査を実施したところ、遺構・遺物を確認したため、工事によって遺構が破壊される部分のみ記録保存調査を行った。その結果、弥生時代後期の竪穴建物跡1軒、時期不明土坑2基を検出した。



不動ノ木遺跡 試掘調査位置図



調査前風景（西から）



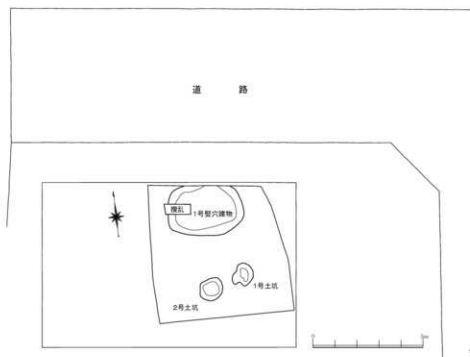
試掘調査風景（西から）



本調査風景（北から）



完掘状況（東から）



第2図 不動ノ木遺跡 遺構平面図

## №7 村上D遺跡

所在地 長塚字村上127-1ほか

調査原因 宅地造成工事

調査期間 平成30年8月17日

調査面積 23.0㎡

調査担当 大塚正之

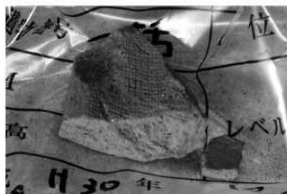
道路建設部分にトレンチを設定し調査を行い、地表下約40cmで地山を検出した。地山は黄褐色の砂質層で、礫の混入は見られなかった。遺構は検出されなかったが、遺物は奈良時代の布目瓦片が1点出土した。地山が砂質ということと、水流による流れ込みと推測される。なお、荒川扇状地の遺跡で布目瓦片が出土すること自体が稀有なため、今回出土した布目瓦片は、市域の古代を考える上で新たな指標となる可能性がある。



村上D遺跡 試掘調査位置図



完掘状況（西から）



出土遺物

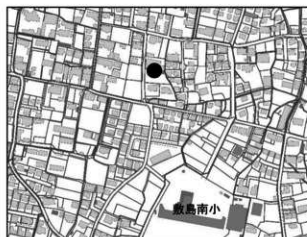


## No.11 松ノ尾遺跡

所在地 大下条字東側125-1ほか  
調査原因 宅地造成工事  
調査期間 平成30年9月26日～10月5日  
調査面積 33.6㎡  
調査担当 長谷川哲也

道路建設部分にトレンチを2本設定し調査を行った。地表下約50cmで遺物包含層、地表下約70cmで遺構確認面である地山を検出した。検出遺構は縄文時代の竪穴建物跡、古墳時代の竪穴建物跡を3軒以上確認し、出土遺物は縄文土器、土偶、古墳時代の土師器、平安時代の土師器等を確認した。

以上の結果から、道路建設部分での工事を行う前に本調査を行う必要があるため、平成30年度中に本調査を行い、平成31年（令和元年）度に整理分析調査を行った。詳細については、発掘調査報告書（「松ノ尾遺跡 17」）を参照。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



調査風景（東から）



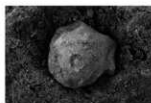
基本土層（トレンチ北壁）



竪穴建物跡検出状況（西から）



土偶出土状況（北から）



土偶拡大写真

## No15 駒沢遺跡／天神反遺跡

所在地 宇津谷地内

調査原因 圃場整備

調査期間 平成30年11月13日～12月4日

調査面積 54.0㎡

調査担当 長谷川哲也

広大な圃場整備範囲全てを試掘調査とするには、予算的な問題等から無理があるため、周知の埋蔵文化財包蔵地内を試掘し、遺構・遺物が確認された場合に範囲を拡大して試掘調査を行うこととした。調査は3m四方のテストピット6か所を設けた。北側の駒沢遺跡は地表下約30cmで地山、南側の天神反遺跡は地表下約75cmで地山を検出した。駒沢遺跡では遺構・遺物は確認されなかったが、天神反遺跡では地表下約45cmの暗赤褐色土からごく少数の縄文土器片が出土した。なお、現在の唐松団地付近は唐松遺跡である（山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第111集『唐松遺跡』参照）。



駒沢遺跡／天神反遺跡 試掘調査位置図



駒沢遺跡／TP-4 調査風景（南から）



天神反遺跡／TP-1 調査風景（南から）



天神反遺跡／TP-2 調査風景（南から）



天神反遺跡／TP-2 土層堆積状況（北壁）

## No.16 御岳田遺跡

所在地 大下条字御岳田984ほか

調査原因 店舗建設工事

調査期間 平成30年12月11日～19日

調査面積 24.8㎡

調査担当 長谷川哲也

試掘位置は店舗の基礎部分3か所と、進入口造成のために土の盛り取りを行う箇所に設定した。試掘坑からは古墳時代後期の竪穴建物跡、平安時代の竪穴建物跡、時期不明の溝跡、土坑を検出した。以上の結果から本調査対応となった。そのため、令和元年度中に発掘調査（御岳田遺跡第10次調査）、令和2年度に整理分析調査を行い、発掘調査報告書を刊行した。詳細については報告書〔御岳田遺跡 10〕を参照。



御岳田遺跡 試掘調査位置図



調査風景（南西から）



TP-1 遺構検出状況（南東から）



TP-2 遺構検出状況（北から）



TP-4 遺構検出状況（東から）

## No.20 東峰C遺跡

所在地 団子新居字塚上1358-2

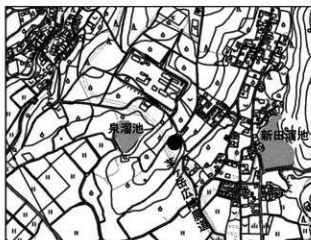
調査原因 鉄塔建設工事

調査期間 平成31年3月6日～18日

調査面積 32.5mf

調査担当 長谷川哲也

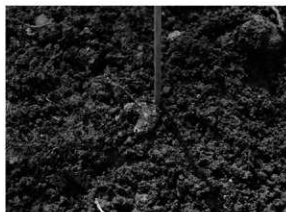
鉄塔建設部分をトレンチとして調査を行った。調査区南側隣接地は農道建設工事の際に本調査を行った場所である。地表下約5cmで火山性の礫を含む粘性・しまり共に非常に強い暗褐色土となり、縄文時代中期後半の土器や黒曜石製の石器が出土した。地表下約20cmで火山性の礫（安山岩質）を多量に含むにぶい黄褐色の地山（粘性・しまり非常に強い）となったが、遺物・遺構は検出されなかった。



東峰C遺跡 試掘調査位置図



調査風景（南から）



黒曜石製石器 出土状況



土層堆積状況（南壁）



完掘状況（南から）

### 3. 令和元年度 埋蔵文化財保護行政概要

当該年度の試掘件数は第2-4表に示したとおりである。

第2-4表 令和元年度 試掘調査一覧

No.	遺跡名	時代・時期	調査地点	対象面積 (㎡)	発掘面積 (㎡)	調査原因	調査期間	主な遺構	主な遺物	試掘指示通知番号	届出受付No
1	二ツ塚遺跡	なし	竜王新町字大原2102-5、 2102-6	300	3	個人住宅 浄化槽	H31.4.9	なし	なし	平成31年3月1日付・ 教文文3527号	H30年度 受付№80
2	浜井場B遺跡	縄文	高瀬川804-2外	376.86	22	農業基盤 整備事業	H31.4.18～ H31.4.22	なし	なし	平成31年1月16日付・ 教文文3005号	H30年度 受付№60
3	日向遺跡	縄文	大袋字久保人2098-5	276.93	3	個人住宅 浄化槽	R1.5.9	なし	なし	平成31年4月8日付・ 教文文33号	H30年度 受付№87
4	日向遺跡	縄文	大袋字久保人2098-7	288.55	3	個人住宅 浄化槽	R1.5.16	なし	なし	令和元年5月14日付・ 教文文515号	受付№6
5	内蔵車遺跡	古墳	境字横田459-5	122.87	3	個人住宅 浄化槽	R1.5.23	確認不可	確認不可	令和元年5月21日付・ 教文文605号	H30年度 受付№85
6	二ツ塚遺跡	なし	竜王新町字大原2102-1の 一部	341.25	3	個人住宅 浄化槽	R1.5.24	なし	なし	平成31年1月22日付・ 教文文3083号	H30年度 受付№68
7	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利419番1	3449.24	38.9	宅地造成 工事	R1.7.1～ R1.7.2	なし	なし	令和元年5月16日付・ 教文文517号	受付№8
8	金の尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安	大下条字金の尾619-1、 620-1、621-2	1242	48.43	集合住宅 建設	R1.7.8～ R1.7.22	なし	縄文土器 土師器 黒曜石	令和元年6月25日付・ 教文文1036号	受付№19
9	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利408番16	243.29	3	個人住宅 浄化槽	R1.7.10	なし	なし	令和元年6月3日付・ 教文文795号	受付№15
10	松ノ尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安 中世	中下条1418、1412-1、 1413	1582	21.792	宅地造成 工事	R1.8.1～ R1.8.16	ビッド1基	土師器 灰輪陶器 石器	平成31年4月15日付・ 教文文192号	受付№3
11	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利408番16	221.95	3	個人住宅 浄化槽	R1.11.10	なし	なし	令和元年9月4日付・ 教文文1751号	受付№50
12	二ツ塚遺跡	なし	竜王新町字大原2102-17	217.88	3	個人住宅 浄化槽	R1.11.29	なし	なし	平成31年3月1日付・ 教文文3526号	H30年度 受付№79
13	曾利遺跡	縄文	団子新居字曾利408番16	336	3	個人住宅 浄化槽	R1.12.4	なし	なし	令和元年8月23日付・ 教文文1602号	受付№39
14	金の尾遺跡	縄文・弥生 古墳・平安	大下条字金の尾724番5	238.2	9.0	個人住宅 建設	R2.3.24～ R2.3.30	堅穴建物 1軒 溝1条	土師器 陶器	令和2年3月17日付・ 教文文3567号	受付№82 本調査へ
15	依頼 霞塚/御崎神 社遺跡	中世・近世 /なし	玉川215	742.5	13.5	開発予定 地の事前 調査	R1.5.8	なし	なし	試掘依頼	H30年度 受付№82・ 依頼№1
16	依頼 八幡遺跡	なし	竜王新町字八幡1812番2	341	11.25	個人住宅 建設	R1.12.13	なし	なし	試掘依頼	受付№69 依頼№2
17	依頼 包蔵地外	なし	団子新居字大沢、 団子新居字瀬谷、 団子新居字団子石	29000	25	開発予定 地の事前 調査	R2.1.27	なし	なし	試掘依頼 /メカソーラー-第3工区-1	受付№74 依頼№3
18	依頼 大原北遺跡	なし	竜王新町2216-1、 2219-4	2473.05	32	開発予定 地の事前 調査	R2.3.23～ R2.3.27	なし	なし	試掘依頼	受付№96 依頼№4

第2-5表 令和元年度 開発の届出件数

	93条 (民間開発)	94条 (公共工事)	試掘依頼受付	計
試掘調査指示	23	0	3	26
工事立会指示	50	13	—	63
慎重工事指示	11	2	—	13
計	84	15	3	102

※年度内に文化財保護法に基づく届出・通知  
及び試掘依頼書を受渡し、指示等を行った  
件数

第2-6表 令和元年度 包蔵地問合せ件数

	包蔵地内	包蔵地外	計
問い合わせ件数	180	965	1145

#### 4. 令和元年度 試掘調査概要

遺構・遺物を確認した第2～4表中のNo.8、No.10、No.14の3件と、包蔵地外の試掘調査であるNo.17について以下に概要をまとめた。

##### No.8 金の尾遺跡

所在地 大下条619-1ほか

調査原因 集合住宅建設工事

調査期間 令和元年7月8日～22日

調査面積 48.43㎡

調査担当 長谷川哲也

調査区北側の中央自動車道は、昭和52年（1977）に本遺跡発見の契機となった部分であるため、当該地においても集落域・墓域が確認される可能性があった。代理人と協議の結果、掘削深度の上限を設けて調査を行った。2本のトレンチを設定し地表下最大80cmまで掘削を行い、地表下約50cmで数点の土器片が出土したが、掘削可能深



金の尾遺跡 試掘調査位置図

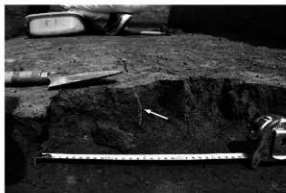
度の範囲内で遺構は確認されなかった。掘削可能最下層面では、噴砂と思われる痕跡のほか、褐鉄鉱を多数確認した。なお、浄化槽設置部分の掘削では、地表下約120cmで黄褐色質の砂礫層の地山を確認している。



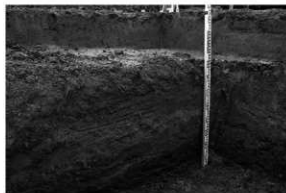
調査区遠景（南から）



TR-1 調査風景（西から）



TR-2 褐鉄鉱（高師小僧）（西から）



浄化槽部分 土層堆積状況（南から）



TR-1 土層堆積状況（東壁）



TR-1 噴砂と思われる部分（南西から）

## No10 松ノ尾遺跡

所在地 中下条1418ほか

調査原因 宅地造成工事

調査期間 令和元年8月1日～16日

調査面積 21.792㎡

調査担当 長谷川哲也

調査区西側に隣接する市道部分には荒川から取水した水路（一ノ堰）が南流しているが、調査区の方が水路よりも低い場所に位置している。調査区内に東・中・西の3本のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチごとに地山検出深度が異なっていた。東トレンチでは地表下約80cmで砂質の地山（にぶい黄褐色土）を確認し、遺構はピット1基を検出した。中トレンチでは地表下約75cmの黒色土層から少量の土器片が出土し、地表下約116cmまで掘削したが、明瞭な地山は検出できなかった。西トレンチは約60cmの盛土下100cmで地山を検出した。各トレンチの地山検出深度の違い、及び中トレンチの土層堆積状況から、中トレンチは埋没谷の可能性が考えられる。なお、中トレンチの地表下約90cmの黒褐色土層（一部砂層）から牛馬と思われる骨片が出土した。



松ノ尾遺跡 試掘調査位置図



調査前風景（西から）



東トレンチ 出土遺物（地表下約40cm）



東トレンチ完掘状況（南から）



中トレンチ 完掘状況（西から）

## No14 金の尾遺跡

所在地 大下条724-5

調査原因 個人住宅建設工事（表層改良）

調査期間 令和2年3月24日～30日

調査面積 9㎡

調査担当 塩谷風季

当該地周辺では多数の本調査が行われている。協議により、表層改良深度（地表下90cm）までの試掘調査となった。地表下約40cmまではカクランであったが、以下は遺物包含層と地山が良好に残っていた。遺構確認面は地表下約78cmの地山で、検出遺構は古墳時代後期の竪穴建物跡と時期不明の溝状遺構である。出土遺物は古墳時代の土師器、平安時代の土師器、江戸時代の陶器片であった。

当該工事において遺構・遺物が破壊される深度で遺構・遺物が確認されたことから、工事着工前に本調査が必要である旨を申請者宛に回答し、令和2年4月に本調査を実施した。埋め戻しは、遺構部分に土のうで養生を施した上で行った。



金の尾遺跡 試掘調査位置図



調査前風景（南から）



掘削深度及び遺構検出状況（北から）





遺構検出状況（南から）



埋め戻し状況（南東から）

## No.17 団子新居地内試掘

所在地 団子新居地内

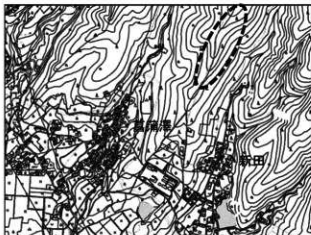
調査原因 開発予定地の事前調査

調査期間 令和2年1月27日

調査面積 25㎡

調査担当 長谷川哲也・塩谷風季

メガソーラー建設予定地（第3工区-1）の試掘調査である。当該地は山林地のため分布調査が行われておらず、遺跡の有無が不明である。そのため、山林伐採後に試掘調査を行う予定であったが、広大な開発面積のほとんどは急傾斜地であったため、重機の侵入が困難であった。そのため、尾根上の小規模な平坦地にトレンチを入れ、遺構・遺物が確認された場合に、周辺にも拡張してトレンチを入れる方法で調査を行った。土層堆積状況は、表土直下がローム質の地山で、安山岩質の礫や凝灰岩質の礫が多く含まれていた。風化が進んでいると思われる、移植ゴテで簡単に割れる柔らかさであった。なお、遺構・遺物は確認されなかった。



団子新居地内 試掘調査位置図



TR-1 完掘状況（南から）



TR-1と2の間にある埋没谷（南から）



TR-2 完掘状況（北から）



TR-3 調査前風景（南から）



TR-3 完掘状況（北から）



TR-4 完掘状況（南から）

# 年 報 抄 録

ふりがな	かいしぶんかいさんねんぼう				
書名	甲斐市文化遺産年報4				
副書名	平成30年度・令和元(平成31)年度				
巻次					
シリーズ名	甲斐市文化財調査報告書				
シリーズ番号	35				
編著者名	長谷川 哲也				
編集機関	甲斐市教育委員会				
所在地	〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610				
発行年月日	令和4年〔西暦2022年〕3月31日				
平成30年度 埋蔵文化財試掘調査					
所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
御岳田遺跡	集落跡/墓域	古墳・平安	堅穴建物跡	土師器	平成30年度に行った御岳田遺跡第8次調査の北側隣接地。平安時代の堅穴建物跡を検出し本調査対応。詳細は発掘調査報告書「御岳田遺跡9」を参照。
不動ノ木遺跡	集落跡	弥生	堅穴建物跡 土坑	土師器	弥生時代後期の堅穴建物跡を検出。
村上D遺跡	散布地	なし	なし	布目瓦	奈良時代の布目瓦片1点が出土した。
松ノ尾遺跡	集落跡/墓域	古墳・平安	堅穴建物跡	縄文土器 土偶 土師器	古墳時代の堅穴建物跡3軒以上を確認したため、本調査となった。詳細は発掘調査報告書「松ノ尾遺跡17」を参照。
駒沢遺跡/ 天神反遺跡	散布地/ 集落跡	縄文	なし	縄文土器	天神反遺跡のテストピットから縄文土器が数点出た。
御岳田遺跡	集落跡/墓域	古墳・平安	堅穴建物跡	土師器	古墳時代後期、平安時代の堅穴建物跡などを確認したため、本調査となった。詳細は発掘調査報告書「御岳田遺跡10」を参照。
東峰C遺跡	集落跡	縄文	なし	縄文土器 石器	表土直下の地山から、縄文時代中期後半の土器、黒曜石製石鏃1点が出土した。
令和元年度 埋蔵文化財試掘調査					
所収遺跡名など	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金の尾遺跡	集落跡/墓域	なし	なし	土師器 陶器	地表下最大80cmまでの掘削。噴砂と思われる痕跡、褐鉄鉱(高師小僧)を確認。
松ノ尾遺跡	集落跡/墓域	なし	なし	土師器 石製品	埋没した谷の黒褐色土層(一部砂層)から、牛・馬と思われる骨片が出土した。
金の尾遺跡	集落跡/墓域	古墳	堅穴建物跡	土師器 陶器	住宅基礎掘削深度内で堅穴建物跡2軒を検出したため、本調査となった。本調査は令和2年4月に行ったため、本欄に記載はしていない。
太陽光発電所 掘	(包蔵地外)	—	—	—	尾根上のわずかな平坦地にトレンチを入れたが、遺構・遺物は確認されなかった。

## 甲斐市文化財調査報告書 第35集

### 甲斐市文化遺産年報4

平成30年度・令和元(平成31)年度

発行日 令和4年(2022)3月31日

発行 甲斐市教育委員会

山梨県甲斐市篠原2610

TEL (055) 278-1697

印刷 株式会社 峽南堂印刷所

山梨県甲府市丸の内一丁目10-1